

<領域：こころとからだのしくみ>

こころとからだのしくみ

問題 19 Hさん(75歳、男性)は、一人暮らしであるが、隣人と共に社会活動にも積極的に参加し、ゲートボールや詩吟、芸術活動など多くの趣味をもっている。また、多くの友人から、「Hさんは、毎日を有意義に生活している」と評価されている。Hさん自身も友人関係に満足している。

ライチャード(Reichard, S.)による老齢期の性格類型のうち、Hさんに相当するものとして、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 自責型
- 2 防衛型(装甲型)
- 3 憤慨型
- 4 円熟型
- 5 依存型(安樂いす型)

問題 20 大脳の後頭葉にある機能局在として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 視覚野
- 2 聴覚野
- 3 運動野
- 4 体性感覚野
- 5 感覚性言語野(ウェルニッケ野)

問題 21 立位姿勢を維持するための筋肉(抗重力筋)として、最も適切なものを1つ選びなさい。

1 上腕二頭筋

2 大胸筋

3 大腿四頭筋

4 僧帽筋

5 三角筋

問題 22 廃用症候群(disuse syndrome)で起こる可能性があるものとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

1 うつ状態

2 高血圧

3 関節炎

4 徘徊

5 下痢

問題 23 褥瘡の好発部位として、最も適切なものを1つ選びなさい。

1 側頭部

2 頸部

3 腹部

4 仙骨部

5 足趾部

問題 24 次のうち、口臭の原因になりやすい状態として、最も適切なものを 1 つ選びなさい。

- 1 唾液の増加
- 2 義歯の装着
- 3 歯周病(periodontal disease)
- 4 顎関節症(temporomandibular joint disorder)
- 5 低栄養状態

問題 25 Jさん(82歳、女性)は、施設に入所している。Jさんは車いすで食堂に来て、箸やスプーンを使って、自分で食事をしている。主食は普通食、おかずは刻み食で全量摂取している。最近、車いすからずり落ちる傾向があり、首が後屈した姿勢で食事をし、むせることが多くなった。

Jさんが誤嚥をしないようにするための最初の対応として、最も適切なものを 1 つ選びなさい。

- 1 食事回数の調整
- 2 座位姿勢の調整
- 3 使用食器の変更
- 4 食事の量の調整
- 5 食事場所の変更

問題 26 次のうち、誤嚥しやすい高齢者の脱水予防のために確認することとして、最も優先すべきものを1つ選びなさい。

- 1 義歯の装着状態
- 2 上肢の関節可動域
- 3 睡眠時間
- 4 夜間の咳込みの有無
- 5 摂取している水分の形状

問題 27 健康な成人の便の生成で、上行結腸の次に内容物が通過する部位として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 S状結腸
- 2 回腸
- 3 直腸
- 4 下行結腸
- 5 横行結腸

問題 28 高齢者の睡眠薬の使用に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 依存性は生じにくい。
- 2 翌朝まで作用が残ることがある。
- 3 食事後すぐの服用が望ましい。
- 4 アルコールと一緒に飲んでも効果は変わらない。
- 5 転倒の原因にはならない。

問題 29 大切な人を亡くした後にみられる、寂しさやむなしさ、無力感などの精神的反応や、睡眠障害、食欲不振、疲労感などの身体的反応を表すものとして、最も適切なものを 1 つ選びなさい。

- 1 認知症(dementia)
- 2 グリーフ(grief)
- 3 リビングウィル(living will)
- 4 スピリチュアル(spiritual)
- 5 パニック障害(panic disorder)

問題 30 死が近づいているときの身体の変化として、最も適切なものを 1 つ選びなさい。

- 1 瞳孔の縮小
- 2 筋肉の硬直
- 3 発汗
- 4 結膜の充血
- 5 喘鳴ぜんめい